

新聞コンクール

本紙「イタセンパラすくすく」の記事 壊した自然 人間が再生を



大阪独自表彰の優秀賞を受賞した式森千花さん―大阪市

大阪独自表彰で優秀賞 中1・式森千花さん

「まさか自分が賞をもらえるなんて」。第9回いっしょに読もう!新聞コンクール」の大阪独自表彰で優秀賞を受賞した大阪市立咲くやこの花中学校1年の式森千花さん(13)はそう言って、ほほえんだ。

式森さんは、本紙6月1日付朝刊(府内版)に掲載された「イタセンパラすくすく」の記事を選んだ。

淀川で生息数が減少しているイタセンパラの保護活動を紹介した

式森さんが選んだイタセンパラを取り上げた本紙の記事



記事で、「魚の写真を見て、かわいいと思ったので読んでみようと思った」と話す。

記事では、イタセンパラの稚魚

を保存池で孵化させる取り組みなどを紹介。式森さんは作文の中で「人間が自然を壊したのだとすれば、再生させる義務もあると思う」と指摘。「絶滅危惧種となった日本の固有種を人工的に繁殖させ、外来種のいない安全な池に放してはどうか」などと提案した。

「新聞の良さは、記者の思いや考え方が書かれているところ」と式森さん。普段から父親と夜、新聞の記事について話し合ったりするという。

「今年は、写真が目についたから選んだ。来年のコンクールはニュースの深いところまで考えて、じっくりと選んで挑戦したい」と意気込んでいた。